

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】持続可能なきのこ生産資材供給支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 資源活用係 電話番号：058-272-1111(内4363)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,200 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,200	0	0	0	0	0	0	0	2,200
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

【現状】

東日本大震災以降、全国的な原木供給不足により原木価格は高騰しているが、生しいたけの販売単価は下がり続けている。

原木生産事業者（伐採者）数は、高齢化や手間を要する作業のため減少が続いている。

【課題】

- ・販売収入が減少するなか、生産資材（原木）の高騰により、きのこ生産者の経済的負担が増加している。
- ・原木供給の持続可能性について疑問（原木林の奥地化による確保の困難さや伐採者の確保等）。
- ・原木伐採者の負担軽減と、効率的な搬出方法の確立によるコスト低減。

(2) 事業内容

- ・しいたけ原木の共同購入支援
生産者団体が共同購入する岐阜県産原木11万本に対して支援する。
補助対象者：概ね20,000本以上の原木を調達する生産者団体。
補 助 率：20円/本

(3) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,200	①20円/本×110,000本=2,200,000円
合計	2,200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）；R2～R6年度

4. 各分野における基本戦略

(1) 生産資材対策

県内の森林資源を最大限活用するため、県産原木等の利用促進、（中略）を強化していく。

目標：令和6年度まで4,658 tのキノコ生産量を維持することを目指す。

(2) 国・他県の状況

原木共同購入：群馬県で類似事業を実施。

(3) 後年度の財政負担

岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）の計画期間である令和6年度まで実施し、終年度中に必要な検討を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：産地の生産者団体

生産者の産地形成・活性化および県内の原木生産・供給体制の持続等を図るために、事業主体を産地の生産者団体とすることは妥当。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	持続可能なきのこ生産資材供給支援事業費補助金
補助事業者（団体）	産地の生産者団体 (理由) 産地の生産者団体：生産者の産地形成・活性化および県内の原木生産・供給体制の持続等を図るため。
補助事業の概要	(目的) 原木価格の高騰や販売単価の下落、原木伐採者数の減少が続いているため、県産原木の利用促進と原木供給のコスト低減を図る。 (内容) 生産者団体による県産原木の共同購入に対して支援する。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 原木：1本につき20円 (理由) 県産原木の円滑な確保を図るため、事業効果を発揮する最小限の補助。
補助効果	生産団体の共同購入を推進し、原木伐採の効率化を図ることにより、原木の安定的な確保体制を整える。
終期の設定	終期 令和6年度 (理由) 岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）の計画期間。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）に基づき、岐阜県内のキノコ生産量について、令和6年度までに4,758tへ増加するようにする。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	終期目標 (R6)	達成率
	①キノコ生産量	4,408t	4,207t	4,558t	4,608t	

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	5,750	4,155	3,769

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 <p>県産材の生産資材2万個・本以上を共同購入する生産団体に補助し、生産団体の共同購入の体制を整え、産地の形成・活性化を図った。</p> <p>原木シイタケ：関市椎茸振興会、白川町椎茸原木購入組合 菌床シイタケ：おくみの菌床椎茸生産組合、下呂市菌床しいたけ生産組合、JAひだやまっこ出荷組合</p> <p>指標① 目標：4,458t 実績：4,044t 達成率：91%</p>
令和3年度	<p>県産材の生産資材2万個・本以上を共同購入する生産団体に補助し、生産団体の共同購入の体制を整え、産地の形成・活性化を図った。</p> <p>原木シイタケ：関市椎茸振興会、白川町椎茸原木購入組合 菌床シイタケ：おくみの菌床椎茸生産組合、下呂市菌床しいたけ生産組合、JAひだやまっこ出荷組合</p> <p>指標① 目標：4,458t 実績：4,207t 達成率：90%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>目標値を達成するためには、しいたけの振興は不可欠であり、震災以降10年経過した現在なお原木の価格は高騰しており、栽培経営を今後も継続するためにも取組の必要性は高い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <p>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 1	<p>生産量は減少しており、期待どおりの成果は得られなかったが、原木の共同購入により、原木調達ロットの確保、安定・計画的な原木生産が促進され、原木しいたけ栽培の経営安定につながり、県全体の生産量の減少率が抑制された。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>産地での生産者団体による共同購入の体制が整理され、原木供給者との価格交渉につながるほか、原木の発注ロットがまとまり、原木供給者における原木生産・供給体制の効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県産の原木価格の高騰が継続している。県内原木供給者は高齢化・減少しており、供給者の育成・確保が必要である。</p> <p>県内にて原木として利用可能な森林資源(広葉樹)の減少、奥地化が進行しており、森林資源の循環利用、奥地への作業道整備が求められる。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>原木しいたけ生産量の減少への歯止め、原木調達に対する負担軽減を図るため、今後も支援は必要である。</p>
